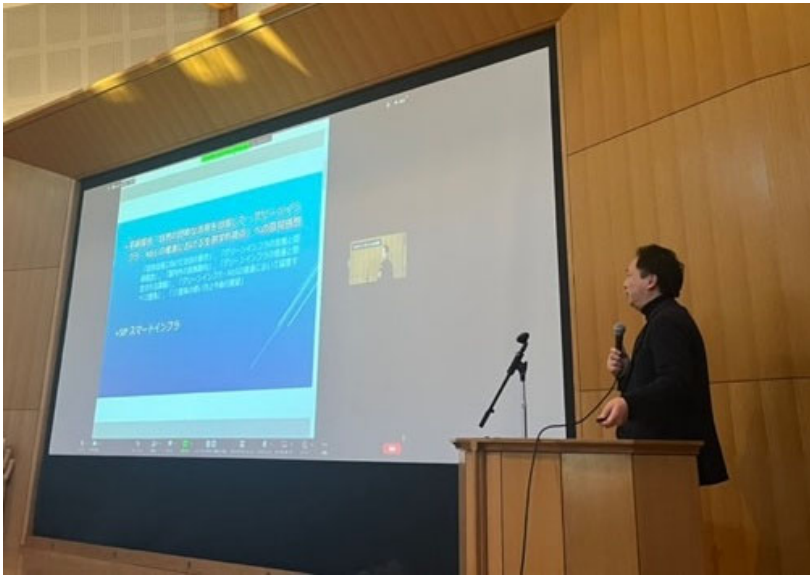




「自然を活かす新しい取り組みーグリーンインフラ・Nbsのあり方ー」をテーマに、S I Pの取り組みなどを紹介するシンポジウムを開催しました。



研究開発責任者 村上教授（筑波大）の講演

2023年12月23日に東京大学弥生講堂一条ホールにて、日本生態学会生態系管理専門委員会およびSIPインフラe-1の主催で、生態学会シンポジウムを開催しました。本シンポジウムでは、S I P本サブ課題の紹介と、グリーンインフラ・NbS・ネイチャーポジティブなどをキーワードとする最新の取り組みについて、地域の実務家や専門家からご講演いただき、意見交換を行いました。

前半は、地域の実務家（三重県いなべ市、千葉県佐倉市、栃木県小山市、公益財団法人阿蘇グリーンストック、大丸有環境共生型まちづくり推進協会）から、三重県いなべ市のにぎわいの森等、グリーンインフラの最新の取り組み事例を紹介いただきました。後半は、地域のでグリーンインフラの取り組みを実現するために必要なことをテーマとして、SIPのメンバーのほか、慶応義塾大学や港湾空港技術研究所も交えた幅広い分野の専門家が講演を行いました。

講演後は、講演者のパネルディスカッションのほか、聴講者からもご質問をいただき、闊達な意見交換が交わされました。グリーンインフラ技術の地域への実装を目標として、本シンポジウムのような様々な主体者が集まり議論する場を設ける等のアウトリーチ活動を今後も継続する予定です。



S I Pメンバーと地域の実務家との
パネルディスカッションの様子



プロジェクトマネージャー（PM）・S I Pメンバーと専門家とのパネルディスカッションの様子